

安全啓発リーフレット(令和4年度版)

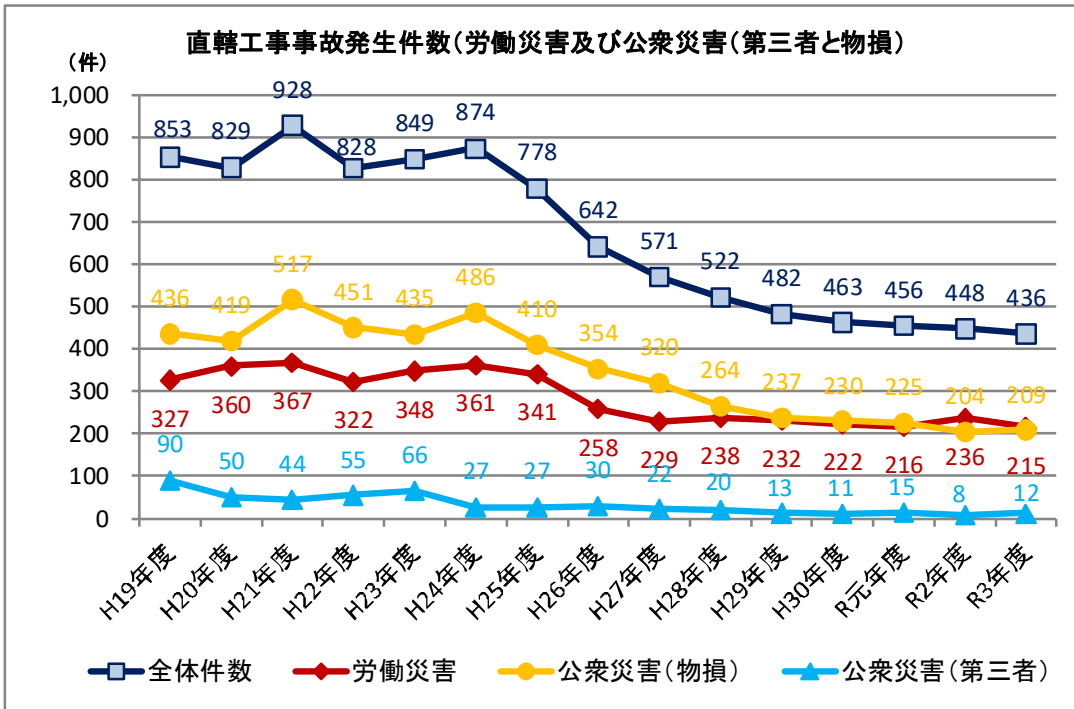
令和3年度の事故発生状況

目 次

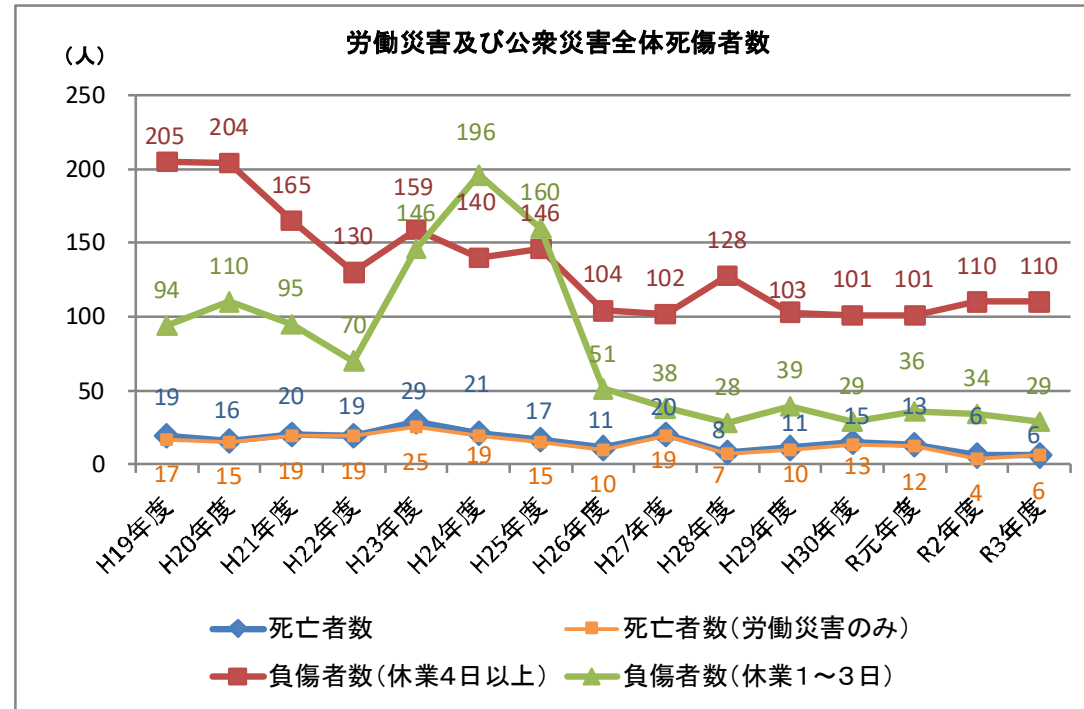
- ・ 直轄工事における事故発生状況①（平成19年度～令和3年度） 2
- ・ 直轄工事における事故発生状況②（平成19年度～令和3年度） 3
- ・ 事例1 建設機械等の転倒、下敷、接触、衝突・労働災害 4
- ・ 事例2 建設機械等の転倒、下敷、接触、衝突・物損事故 5
- ・ 事例3 墜落事故・労働災害 6
- ・ 事例4 クレーン等の転倒、下敷、接触、衝突・労働災害・労働災害 7
- ・ 事例5 工具等取り扱い・労働災害 8

直轄工事における事故発生状況①（平成19年度～令和3年度）

工事事故発生件数(労働災害及び公衆災害) 平成19年度～令和3年度



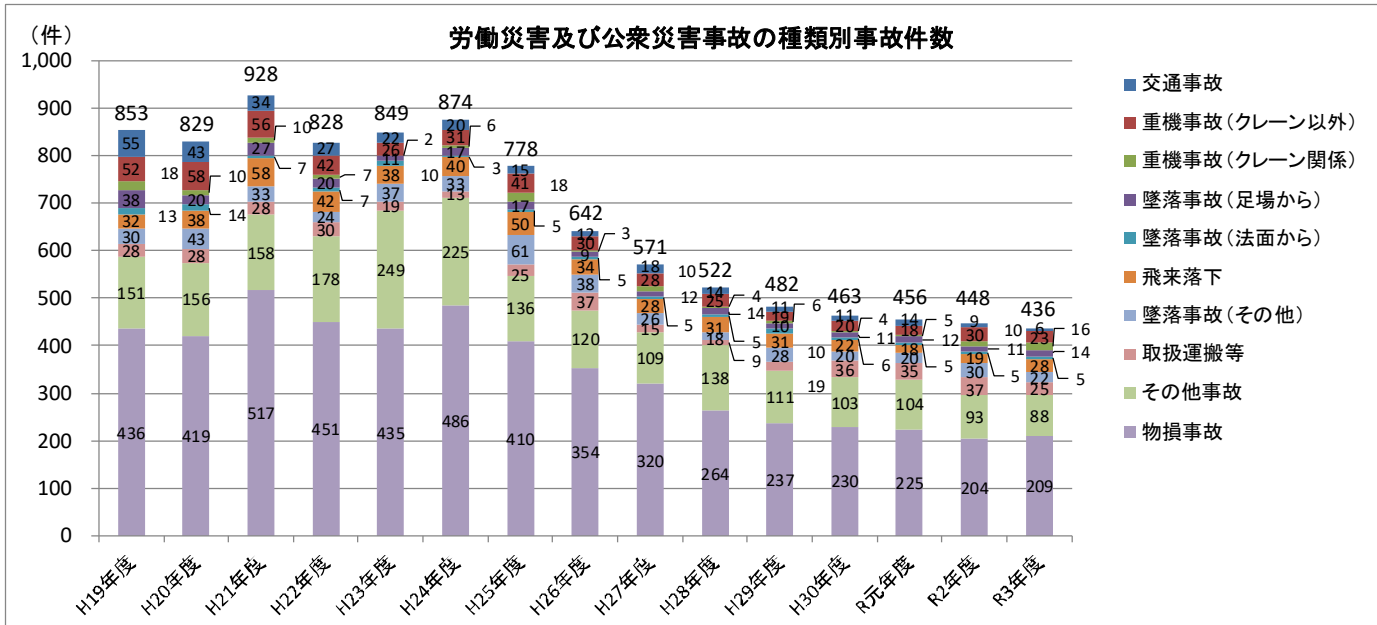
死傷者数(労働災害及び公衆災害) 平成19年度～令和3年度



- 令和3年度の労働災害及び公衆災害による事故発生件数は436件であり、数年間連続で減少傾向にある。
- 令和3年度の労働災害の事故発生件数は215件であり、昨年度より21件減少した。
- 令和3年度の公衆災害(物損)の事故発生件数は209件であり、昨年度より5件増加した。
- 令和3年度の労働災害及び公衆災害による死亡者数は6人、負傷者数(休業4日以上)は110人で昨年度と同じ、負傷者数(休業1~3日)は29人であり昨年度より5人減少した。

直轄工事における事故発生状況②（平成19年度～令和3年度）

事故発生件数 平成19年度～令和3年度



[事故発生件数及び死傷者数の内訳]

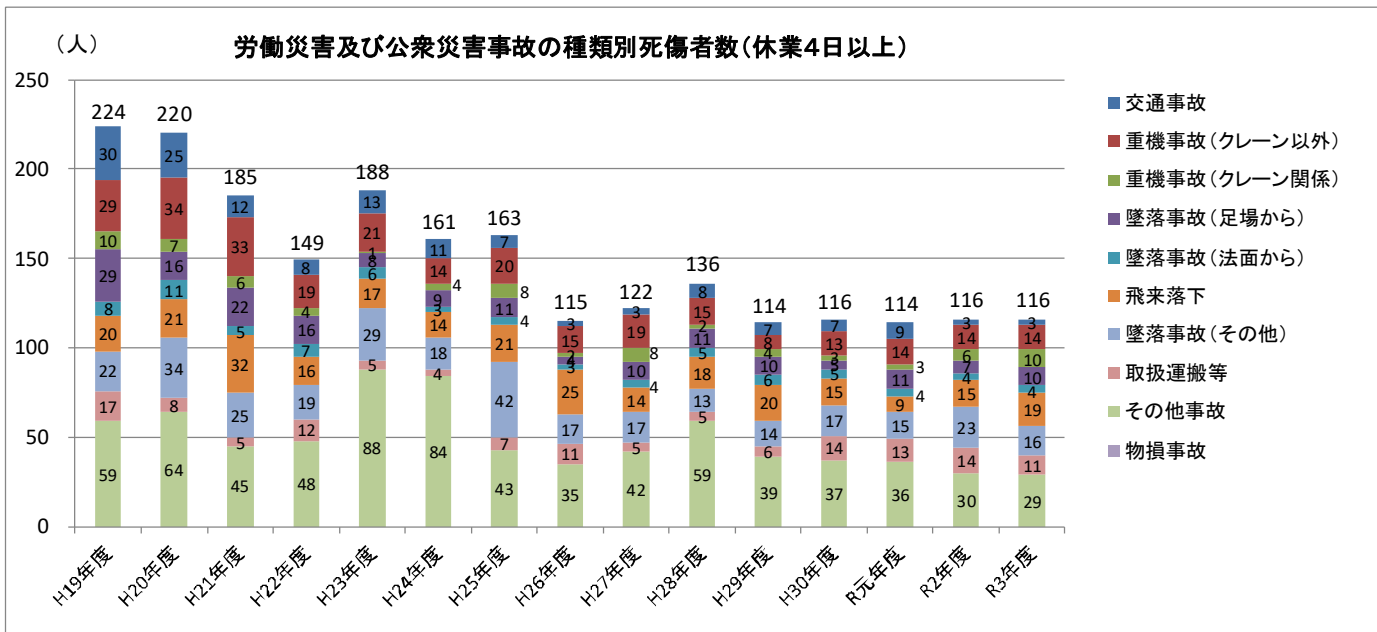
【事故発生件数】

- 重機事故(クレーン以外)は前年度30件に比べ23件に減少したが、重機事故(クレーン関係)は、前年度10件から16件に増加。
- 飛来落下は、前年度19件から28件に増加した。
- 墜落事故(足場から)は、前年度11件から14件に増加し、墜落事故(法面から)は前年度と同じであった。

【死傷者数(休業4日以上)】

- 飛来落下の死傷者数が19人と前年度から連続で増加。
- 重機事故(クレーン関係)の死傷者数が10件と前年度から連続で増加。
- 墜落事故(足場から)は、前年度に比べ3人増加し、墜落事故(法面から)は、昨年度と同等の4人。

死傷者数(休業4日以上) 平成19年度～令和3年度



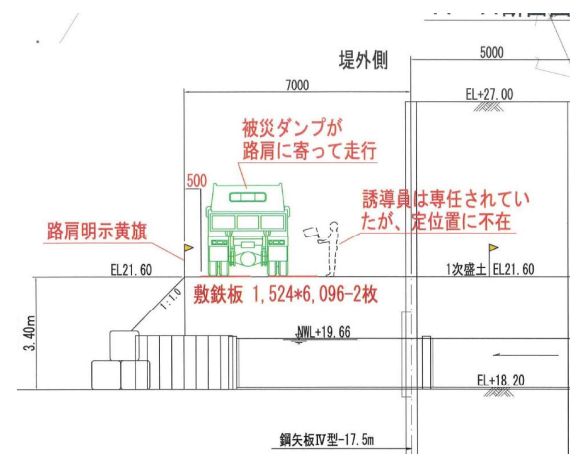
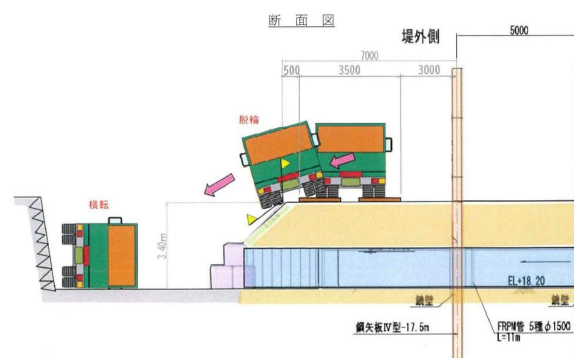
ダンプトラックが路肩から転落して被災（負傷事故：休業4日以上）

事例1 建設機械の転倒、下敷、接触、衝突・労働災害

- ① 日 時：令和3年7月15日（木）
- ② 作業内容：土工作业【土木一式工事（河川）】
- ③ 事故内容：ダンプトラックによる土砂搬入の際、工事用道路をバックにて進入していたところ、運転手がハンドル操作を誤り転落した。
- ④ 被害状況：作業員 1名負傷（休業4日以上）

【事故発生状況】

- 当該工事箇所周辺道路は、地元小学生の通学路となっており、通学時間帯を避けて早朝に工事用車両を入場させていた。
- 既設の工事用道路をバックにて進入していたところ、運転手がハンドル操作を誤り、路肩明示を越え、敷鉄板上より脱輪し工事用道路盛土上より約3m転落し、この車両の運転手が被災した。



【事故発生原因】

- 早朝のダンプ入場で車両の後進に対して誘導員の配置が適正でなかった。
- 路肩明示が低く運転手から見えにくかった。路肩に堅固な柵類が無かった。
- 車両の後進走行距離が長かった。

バックホウ掘削作業時における物損事故（物損事故）

事例2 建設機械の転倒、下敷、接触、衝突・物損事故

- ① 日 時：令和3年6月25日（金）
- ② 作業内容：土工作业【コンクリート構造物工事（道路）】
- ③ 事故内容：函渠工置き換えの掘削中、バックホウのブームが架空線に接触し、ケーブルの固定金具が外れ、通信設備に被害を与えた。
- ④ 被害状況：物損事故（死傷事故に繋がる可能性の低いもの）

【事故発生状況】

- 函渠工の置き換え範囲の床堀二次掘削作業中、バックホウのブームが架空線に接触し、通信設備に被害を与えた。

【事故発生原因】

- 当初の作業計画では、架空線直下での施工は行わない作業計画としていたが、現場で立会していた元請けもバックホウの作業方向の向きが作業計画と異なることに気付かず十分な指導ができていなかった。
- 下請けも自らの判断で掘削方向、作業手順を変更して作業を行っていた。



吊荷旋回中にクレーンが転倒した物損事故 (物損事故)

事例3 クレーン等の転倒、下敷、接触、衝突・労働災害

- ① 日 時：令和3年7月20日 (火)
- ② 作業内容：60tラフタークレーンによる矢板打込み作業 【護岸工事(河川)】
- ③ 事故内容：敷鉄板を敷設せず作業を行ったため、吊荷旋回中に川側のアウトリガー下の地盤が沈下し、60tラフタークレーンが転倒した。
- ④ 被害状況：物損事故(死傷事故に繋がる可能性の高いもの)

【事故発生状況】

●60tラフタークレーンにて矢板を打込んだ後、次エリアの矢板打込のため段取替え(敷鉄板5×10重量 約900kgの移動)を行っている際、敷鉄板を敷設せず作業を行ったため、吊荷旋回中に川側のアウトリガー下の地盤が沈下し、60tラフタークレーンが転倒した。

【事故発生原因】

- アウトリガーの下に敷鉄板を敷設せずに別の敷鉄板を吊り作業しバランスを崩し横転した。
- 施工計画書にはアウトリガーへの敷鉄板の使用が記載されていたが、当該作業時の安全管理が不十分であった。



除草作業中に擁壁から墜落して被災（負傷事故：休業4日以上）

事例4 墜落事故・労働災害

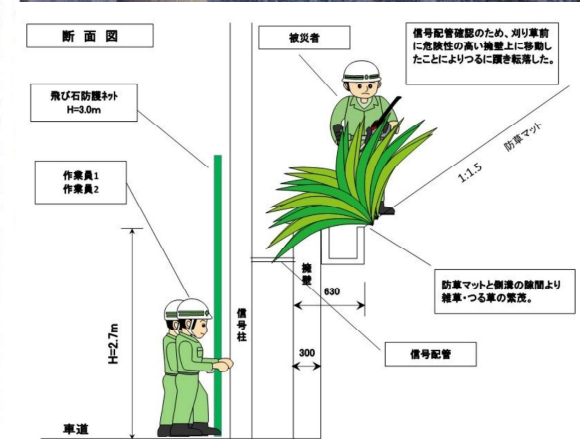
- ① 日 時：令和3年7月19日（月）
- ② 作業内容：肩掛式除草機による除草作業【維持修繕工事（道路）】
- ③ 事故内容：肩掛け式草刈り機を使用している除草作業中、つる草に足をとられ約2.7mの擁壁から転落し負傷した。
- ④ 被害状況：作業員 1名負傷（休業4日以上）

【事故発生状況】

- 肩掛け式草刈り機を使用している除草作業を実施しており、その最中に被災者が作業前方（信号配管）の状況確認をするため、エンジンを止めた草刈り機を担いで、擁壁上を移動していた。
- 移動中につる草に足をとられ約2.7mの擁壁から転落し負傷した。

【事故発生原因】

- 転落の危険性がより高い擁壁の上に立ち上がったこと。
- 被災者が草刈り前のつる草がある法面を草刈り機で両手が塞がった状態のまま移動したこと。



除草作業中に飛んだ刈刃が作業員に当たり被災（負傷事故：休業4日以上）

事例5 工具等取り扱い・労働災害

- ① 日 時：令和3年7月6日（火）
- ② 作業内容：肩掛式除草機による除草作業【維持修繕工事（河川）】
- ③ 事故内容：肩掛け式草刈り機にて1:2.0勾配の緩い法面を除草作業中、刈刃が石に接触した際に外れ、外れた刈刃が右足に接触し負傷した。
- ④ 被害状況：作業員 1名負傷（休業4日以上）

【事故発生状況】

- 肩掛け式草刈り機にて1:2.0勾配の緩い法面（空石張、練石張）を除草作業していた。
- 作業時に刈払い機の刃の押さえボルト先頭が石に接触しボルト先頭が折損して刈刃が外れ、外れた原因で右足に接触し怪我をした。



【事故発生原因】

- 被災者は事故当日から当該作業に従事していた。
- 生い茂った草の下に隠れた石張がある場所での作業であり、不慣れな被災者は、刈刃を複数回石に接触させていた。

